

ドローン×アジア

～ドローン、アジアを翔ける！～

2016年

11月26日 土 14:00-17:30

東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター
 地下1階 ギャラリー1 **★事前登録制★**

第一部

14:00～15:25 灼熱のアジア・ドローン業界

アジアにおけるドローンの普及をどうみるか？

(智聯国際開発股份有限公司 川ノ上和文)

ドローンの都・深圳(シンセン)はいかに形成されたのか？

(東京大学社会科学研究所 伊藤亜聖)

加速するアジアのドローンレース

(一般社団法人日本ドローンレース協会 小寺悠)

第二部

15:40～17:30 挑戦する日本のドローンベンチャー

日本ドローンビジネスの可能性

(ブルーイノベーション株式会社 熊田貴之)

日本企業はいかにアジアを開拓/活用するか？

(テラドローン株式会社 徳重徹)

ドローンのグローバル市場におけるアジアの優位性とは？

(株式会社CLUE 阿部亮介)

パネルディスカッション

ワークショップ概要

航空法の改正を契機として、いま、日本で無人航空機(ドローン)が注目を浴びています。同時に、アジア各国もドローン業界の発展を模索し、それぞれの地域で特徴のある普及と実用化が見られ、さらに各地でドローンレースも開催されています。今回のワークショップは、『ドローン×アジア～ドローン、アジアを翔る(かける)！～』と題して、いまアジア各地で起きているドローンに関わる最新の動きに注目し、情報を共有します。

⇒事前登録は東京大学社会科学研究所・現代中国研究拠点HP

<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/activities/>



写真：中国深圳のドローンレース団体、D1のオフィス。

Drone × Asia ワークショップ進行

- 14:00~14:05 主旨説明 (伊藤亜聖)
- 14:05~14:30 アジアにおけるドローンの普及をどうみるか? (川ノ上和文)
- 14:30~14:55 ドローンの都・深圳はいかに形成されたのか? (伊藤亜聖)
- 14:55~15:20 加速するアジアのドローンレース (小寺悠)
- 15:20~15:40 休憩
- 15:40~16:05 日本ドローンビジネスの可能性 (熊田貴之)
- 16:05~16:30 日本企業はいかにアジアを開拓/活用するか? (徳重徹)
- 16:30~16:55 ドローンのグローバル市場におけるアジアの優位性とは (阿部亮介)
- 16:55~17:30 パネルディスカッション

登壇者紹介

川ノ上和文 (智聯國際開發股份有限公司)

台湾を拠点にアジアのテクノロジー情報、特にドローンとVR関係のイベントに数多く参加し、記事を執筆。「ざっくり紹介 深圳 (シンセン) ドローン事情」(<http://atechhub.xyz/archives/65>)、「中国EC最大手・京東グループ、ドローン配送計画を発表」(<https://roboteer-tokyo.com/archives/4474>)、「台湾OEM大手・ペガトロン (Pegatron) がドローン市場参入」(<https://roboteer-tokyo.com/archives/4796>)等。

伊藤亜聖 (東京大学社会科学研究所 講師)

専門は中国経済論。『現代中国の産業集積——「世界の工場」とボトムアップ型経済発展』(名古屋大学出版会、2015年12月)、『東大塾 社会人のための現代中国講義』(高原明生・丸川知雄共編、東京大学出版会、2014年11月)、「深圳国際ドローン展覧会視察報告」(<http://uas-japan.org/report/4795/>)等刊行。

小寺悠 (一般社団法人日本ドローンレース協会(JDRA) 代表理事)

仙台で世界大会の予選となるJAPANDRONENATIONALSを主催。アジアドローンレース協会(ADRO)を中国・韓国の団体と共同設立、ADROの副会長として、日本とアジア、そして世界のドローンレースイベントを繋げている。一般社団法人日本ドローンレース協会HP: <http://jdra.or.jp/news/>

熊田貴之 (ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長)

工学博士で、世界初の海岸地形と底質粒径の変化が予測できる数値計算モデルを開発。2011年、東日本大震災直後には海岸復旧のための調査を実施。以降、ドローンの有効な産業利用を模索し、現在、ブルーイノベーション株式会社代表取締役社長。ブルーイノベーション株式会社HP: <http://blue-i.co.jp/>

徳重徹 (テラドローン株式会社 代表取締役社長)

電動車ベンチャー・テラモーターズの創業者。現在アジアで、年間4万台のEVを製造販売。2015年にドローンベンチャー・テラドローン株式会社を設立し、2016年には測量サービス、農業用ドローンを提供開始。著書に『世界へ挑め! いま、日本人が海外で戦うために必要な40の発想』(フォレスト出版、2013年1月)、『「メイド・バイ・ジャパン」逆襲の戦略』(PHP研究所、2013年9月)等。テラドローン株式会社HP: <http://www.terra-drone.co.jp>

阿部亮介 (株式会社CLUE CEO)

東京大学大学院工学系研究科修了後、株式会社ディー・エヌ・エーに入社。エンジニアとしてWebサービスの運用開発経験を経た後、シンガポールに渡り、現地スタートアップに入社。マネージャー及びアプリ開発エンジニアを経て、2014年に日本に帰国し株式会社CLUEを設立。<https://corp.t-clue.com/>

※会場キャパシティ(70名程度)の都合で、混雑時はご不便をご容赦ください